

(臨床研究に関するお知らせ)

社会医療法人愛仁会高槻病院に入院され、リハビリテーション介入をさせていただいた脳卒中患者さんへ

社会医療法人愛仁会高槻病院リハビリテーション科では、以下の臨床研究を実施しています。ここにご案内するのは、過去の診療情報や検査データ等を振り返り解析する「後ろ向き観察研究」という臨床研究で、当院倫理審査委員会の承認を得て行うものです。すでに存在する情報を利用して頂く研究ですので、対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報の保護には十分な注意を払います。

この研究の対象に該当すると思われた方で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

新型コロナウイルス感染症の流行に伴う熱発隔離が急性期脳卒中患者のリハビリテーションに及ぼす影響に関する後ろ向き観察研究

2. 研究責任者

社会医療法人愛仁会高槻病院リハビリテーション科 理学療法士 阿河由巳

3. 研究の目的

新型コロナウイルス感染症（以下 COVID-19）の流行により、当院では原則として、入院後 72 時間以内の 37.5 度以上の熱発患者に対しては COVID-19 を疑い、隔離対応にて熱源精査を行うこととしています。脳卒中患者のリハビリテーションに関して、脳卒中ガイドラインでは発症後早期からの積極的なリハビリテーションを行うことが推奨されていますが、熱発隔離によるリハビリテーションの休止が脳卒中患者に及ぼす影響については明らかになっていません。そこで、本研究の目的は、脳卒中患者のリハビリテーションにおける入院後早期の熱発隔離の影響を明らかにすることとしました。

4. 研究の概要

(1) 対象となる患者さん

脳卒中の患者さんで、2020 年 10 月 1 日から 2021 年 6 月 30 までの期間中にリハビリテーションを受けた方

(2) 利用させて頂く情報

この研究で利用させて頂くデータは、基本情報（年齢、性別、疾患名、合併症、在院日数、転帰先）、脳卒中重症度（NIHSS, mRS）、身体機能（SIAS、FMA、TCT）、リハビリテーション（開始日、休診日）に関する情報です。

(3) 方法

電子カルテから上記の調査項目を抽出します。

5. 個人情報の取扱い

利用する情報からは、患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際も患者さんの個人情報が公表されることはありません。

6. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、患者さんには、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。

研究対象から除外させていただきます。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被ることは一切ありません。

7. 問い合わせ先

〒569-1192 大阪府高槻市古曾部町 1-3-13

社会医療法人愛仁会高槻病院リハビリテーション科 理学療法士 阿河由巳

TEL : 072-681-3801 FAX : 072-682-3834

E-mail : aga.yumi@aijinkai-group.com